

から16時まで実施します(詳細は8ページに)。ほかにもできることはないか、一同知恵を絞っているところです。

【寄付】

NPOの認定制度は、NPO 法人への寄附を促すことで、NPO 法人の活動を支援するために税制上の優遇措置として設けられました。えんも法律改正で認定に手が届くようになってすぐ認定を受け、おかげさまで毎年多額の寄付をいただいています。これまで寄付の使途を財源がない文化事業や地域交流などとしてきました。しかし今年度は思い切って職員の待遇改善のためにも使わせていただくこととしました。

そのきっかけが今回のコロナ禍です。介護職の賃金は全職種平均より月額9万円低い。希望者が壊滅状態の理由もこれが大きいと思われます。えんの収支は比較的安定していますが、職員賃金アップに避ける余裕は少なく、永年勤続者が多いのにその努力に報いることができません。国の改善策は強く要望を続けますが、待ってられません。介護の仕事につく人を増やしたい。離職しない職場環境を整えたい。まずえんでできることから始めたい。そのための応援をお願いいたします。

(代表理事／小島美里)



真夜中のグループホームで

お日様がちょっと隠れた夏至もすぎ、くるりと今年も半分を超えてきました。時の流れが速く感じる。多くの人が共感するであろう言葉すらも、はるか後方に見えるかのようです。

真夜中のおり「子供たちは…帰った？」と、ばつが悪そうに尋ねてくる90歳。ベッド上「赤ちゃんが生まれそう」と入れ歯の入っていない口に笑みを浮かべた92歳。「何言っているのよ、私たちいどこじゃないの」と孫ほどの存在に少女のような瞳でたしなめる85歳。朝にはけろっとご飯を食べていても、いくら待っても赤ちゃんは出てこなくても、彼女らのその「時」は、確かに存在していた(いる)ように思います。

人は時と時の間を認識し、「時間」を創り出しました。でも植物には「時間」は無いといえます。ただ、芽吹き「時」を待ち、花を咲かせる「時」を待つ。人もまた、5次元の世界では、過去も現在も未来もなく、自由に旅ができるとか。呆けが深まるその先にはそんな世界を体験できるのかもしれませんが。

とはいえ、時間に追われて夜勤の朝は慌ただしく、あっという間に9時が来る。今年もあと半分。よろしくお願いいたします。

(グループホームえん／林和秀)